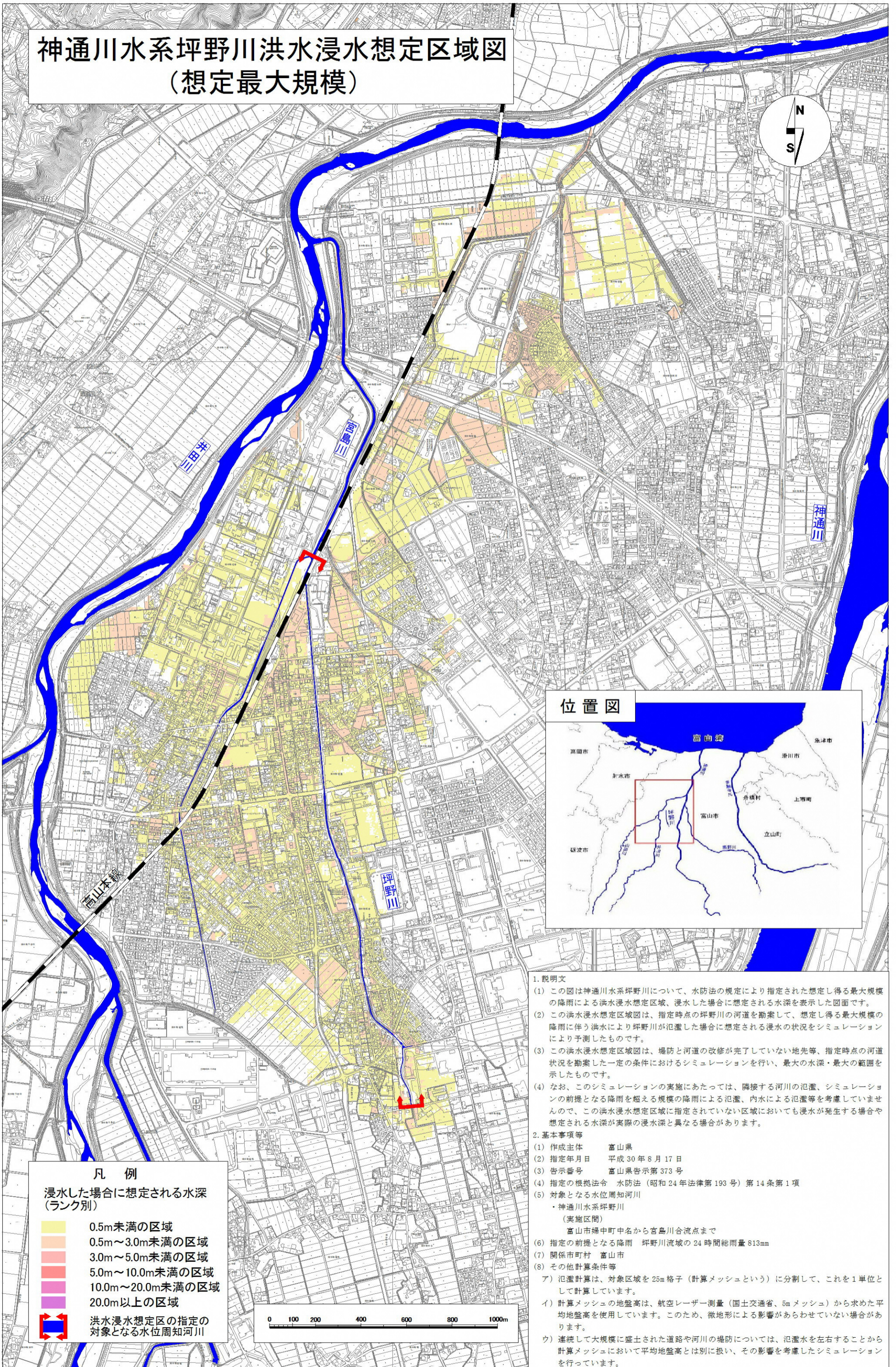


神通川水系坪野川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



位置図



凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

洪水浸水想定区の指定の
対象となる水位周知河川



1. 説明文

- (1) この図は神通川水系坪野川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の坪野川の河道を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により坪野川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) この洪水浸水想定区域図は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、指定時点の河道状況を勘案した一定の条件におけるシミュレーションを行い、最大の水深・最大の範囲を示したものです。
- (4) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、隣接する河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 富山県
- (2) 指定年月日 平成30年8月17日
- (3) 告示番号 富山県告示第373号
- (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
- (5) 対象となる水位周知河川
 - ・神通川水系坪野川
(実施区間)
富山市堀中町中名から宮島川合流点まで
- (6) 指定の前提となる降雨 坪野川流域の24時間総雨量813mm
- (7) 関係市町村 富山市
- (8) その他計算条件等
 - ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
 - イ) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量(国土交通省、5mメッシュ)から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
 - ウ) 連続して大規模に盛土された道路や河川の堤防については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。